

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年12月18日(18:00~19:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼 山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下 中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	4人	0人	13人

前回の改善計画

・担当職員やケアマネジャーが本人と面談を行い、現在の気持ちや利用方法についての意向を確認し、本人の気持ちに近づける様にし、また他職員とも情報共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ミーティングで情報共有はできているが、利用者との面談についてはできていない。
 ・本人の気持ちや利用に対しての意向を聞いたとしても、その場で終わってしまうことがあり、アセスメントに活かされていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		10	3		13
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12	1		14
③ 本人がまだ慣れない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	11	2		14
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	4		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者に変化等があるときは、ミーティングや職員会議で話し合い、情報の共有ができている。
 ・面談まではできていないが、本人の気持ちや聞き出せるよう継続的に声をかけている。また、新規の利用者に対しては意識して声をかけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・利用者との面談する時間を作ることができていない。
 ・情報が少なく必要とされるサービス支援が見えてこない。また、家族の意向が優先していることが多い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・利用者との関わりや、話しをする機会を作り、いまの気持ちや利用方法について意向を随時確認する。
 得た情報は、ケアマネや他職員、家族もふまえて情報共有し本人の気持ちを知らせ、気持ちに寄り添えられるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	10人	2人	13人

前回の改善計画

- ・寄り添いシートについて理解を深めるために職員間で勉強会を開く。
- ・利用者、家族との信頼関係を深められるように方法を考えしていく。
- ・作成した寄り添いシートを職員間で共有し、ケアプランやサービスに反映させていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・寄り添いシートは完成したが、理解を深めるための勉強会はできていない。
- ・毎月職員会議を開催することで、利用者や家族との連携について話し合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		5	6	3	14
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	9		14
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	8		14
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	8	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・寄り添いシートは担当職員が中心となり、わかる範囲で記入し詳しい情報を知ることができた。
- ・職員会議で利用者、家族との連携、支援方法について話し合うことができた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・寄り添いシートの共有、勉強会はできていないため、ケアプランやサービスに反映できなかつた。
- ・利用者、家族との信頼関係を築くための支援方法について話し合うことが出来たが実践には至っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・本人の「～したい」の意思が、家族とサービス提供側で決定していることがあるため、ケアプランの更新や新規作成された時には、カンファレンスおよび担当者会議を確実に行うようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー
新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄				
よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
2人	9人	1人	2人	14人

前回の改善計画

・連絡ノートへの記入、口頭での連絡は継続して行っていき、家人に会えないなど情報が不足している時は、ケアマネジャーが訪問した際に情報を伝えてもらう。ケアマネに頼らず介護士からも電話をしたりし伝えること、その都度情報を伝えていく事が重要。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用者の状態の変化については連絡ノートへの記入だけではなく、介護士が直接電話し伝えていく。また、ケアマネにも情報を伝えてもらうように声をかけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄				
よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
1	1	10	3	14
2	12			14
	7	7		14
1	13			14
	10	4		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者の状態の変化を連絡ノートや口頭または電話で、家人に連絡、報告をしている。
・ケアマネにも情報を伝えてもらえるように声をかけると共に、介護士も直接家人に大事なことは伝えるようにしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・連絡ノートについてはこちらが情報提供しても、ノートを見ているかわからない場合や、自宅の様子を知らせてくれない家族もいるため、情報をなかなか得られない場合が多い。
・ケアマネが自宅に訪問する際に伝えてほしい情報があるが、訪問日程や家族が来所する日程が把握できていないため、ケアマネと介護士間での連携がスムーズでないことがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・本人の以前の暮らしや基本情報は契約時や担当者会議で、できる限り情報収集をする。そのために、具体的にどのような情報が必要かを明確にし、ケアマネと介護士間でも情報交換を密にしていく。
・体調面や気持ちの変化は記録に残し、ミーティングや職員の連絡ノートでの情報共有、家人への口頭や電話連絡は継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー
新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		合計(総人数)	
よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
0人	1人	10人	3人
			14人

前回の改善計画

・送迎時家人より行事の情報を聞いたり、オレンジカフェなどで民生委員や地域の方より情報収集をするなどして、地域の行事に参加できるようにしていく。また、よりよいシートを活用し、外出支援を行いながら本人のなじみの店などを見つけていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・同居の利用者や家族との関係が希薄な利用者も多く、情報収集が難しかった。
・本人の意向を確認し、各担当者が中心になり外出支援や地域資源を活用できた利用者もいたが、よりよいシートの活用までは至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		合計(総人数)	
よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
0人	7人	6人	1人
0人	6人	8人	0人
0人	2人	11人	1人
0人	1人	9人	4人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・各担当者が中心になり外出支援に繋げることができた。
・日々の利用者との関わりを深めることで、地域資源の活用につなげることができた。馴染みの美容室への付き添い、近所の同級生が顔をだしてくれたり、地域のつながりができました。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・家族との関わりが少なかったり、同居の方は必要な地域資源を把握できていない。また、施設での生活が中心になっていない利用者も多く、本人に必要な地域資源を見つけていけなくなっている。
・オレンジカフェでは時間が限られているため、関係者や地域の方と話をする機会も少なく、地域行事についての情報収集ができていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・地域との関わりがなくならないように、その人にとって何が必要なのか、どのように支援すれば地域資源の活用につなげられるかを考える。また、個別外出支援は継続する。
・こちらから地域の行事等に出向き、地域での暮らしを継続できるよう支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄					
よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)	
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画

- 日々の関わりや、寄り添いシートの内容から新しい支援を探り、サービスの充実を図っていく。
- 通い、訪問、泊まり等、利用者様、家族が求めるサービスに柔軟に対応し支援に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 寄り添いシートの作成を行い、新しい情報を得ることが出来たが、サービスの充実には繋がらなかった。
- 利用者よりも家族の求めるサービスが中心になってしまい、柔軟な支援ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄					
よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)	
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	7	2	13
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	8	4		13
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	11	1		14
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	1	1	14

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・利用者、家族から要望があった時や体調不良時は、訪問、夕食付き、泊まりのサービスのサービに変更に変更し、柔軟なサービスが提供できている。
 ・定員の拡大にともない、家族の希望に合わせ支援ができています。
 ・積極的に利用者との関わりを深め、いま必要なサービスをケアマネ、介護士と相談しサービスの提供ができています。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・利用者本人は必要としないサービスであっても、家族の意向でサービス内容が変更されてしまうことがある。
 ・泊まりが続くことで一部の利用者が固定化されてしまい、緊急時等、必要な利用者に対して柔軟な支援ができていく面がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)
 ・本人にとって必要なサービスを、利用者本人、家族、ケアマネ、介護士、看職師等、様々な角度から探り、得た情報をもとに職員会議で話し合い、担当者会議につなげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている			なんとかできている			あまりできていない			ほとんどできていない			合計(総人数)		
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	3人	2人	14人										

前回の改善計画

・集団リハレク、研修等で取り組み始めた。併設施設、柴やすらぎの園との連携項目を更に増やす。
・オレンジカフェへの関わりを通じ、地域包括支援センター等の関係機関との連携を強化する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・集団リハレク、研修等で、併設の特養との関わりが増えた。
・夜間緊急時について研修を行い、新たに特養との連携を増やすことができた。
・オレンジカフェへの参加はできているが、関係機関との連携強化まではできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている			なんとかできている			あまりできていない			ほとんどできていない			合計(総人数)		
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	3	2	6	11										
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	5	1	8	11										
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	3	2	6	12										
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	5	1	5	12										

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・集団リハレク、研修等で特養入居者、職員とも連携ができています。また、夜間緊急時の研修を行ったことで、夜勤職員の連携が以前よりスムーズにできています。
・オレンジカフェ、保育園や小学校の行事へ参加することで、地域の方々との交流を図ることができている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・行事がある時でないの特養入居者、職員との関わりが薄い。
・オレンジカフェがレクをする場になっており、関係機関との連携強化までには至っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)
・地域のイベントについて調べて参加することで、事業所の存在を知ってもらい、連携につなげていく。
・集団リハレク、カフェ柴等のイベント参加を通して、併設施設との交流を図る。また、連携項目についても検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

7. 運営

メンバー 新村・笠井・西山・荒井・岡村・富尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	6人	1人	14人

前回の改善計画

- ・利用者、家族からの意見や苦情があったときはホワイトボードに記入し職員間で情報共有をする。
- ・来年度アンケートを実施し利用者、家族からの意見を運営に反映させていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者、家族からの意見はホワイトボードに記入することができたが、苦情の記入まではできなかった。
- ・アンケートの実施ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	7	2	12
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	3	1	13
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	4	2	13
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	6	3	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ホワイトボードに意見や情報を記入し、活用できている。また、職員間の連絡ノートも合わせて活用することができた。
- ・家族や利用者からの意見は職員間でその都度話し合い、情報共有ができた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ホワイトボードに苦情を記入することができていない。徹底することができなかった
- ・アンケートの実施ができず、意見が運営に反映できなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・苦情はミーティングや職員会議で情報共有し、迅速に対応し、改善策を考えていく。また、利用者や家族からの意見は継続してホワイトボードに記入する。
- ・アンケートの内容を検討、実施し、運営に反映させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー
新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている			なんとかできている			あまりできていない			ほとんどできていない			合計(総人数)		
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	2人	2人	14人										

前回の改善計画

- ・職場外の研修についての情報提供や時間外の研修は引き続き特養と連携をとり参加しやすいものにしていく。
- ・危険を感じたことや問題となりそうなこと等、未然に防げたことでもヒヤリハットに残し対応策を考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員個々で、研修の年間計画を立てることができた。
- ・些細なことでも、ヒヤリハットに記入するという意識が持てるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている			なんとかできている			あまりできていない			ほとんどできていない			合計(総人数)		
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	4	2	4	13										
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	6	5	14										
③	地域連絡会に参加していますか		1	3	8	12										
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		10	2	2	14										

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・可能な限り、研修に参加できている。
- ・些細なことでも、ヒヤリハットに記入できるようにになった。また、書く事を意識して取り組めた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・時間外の内部研修は、参加する職員が限られていた。
- ・ヒヤリハットに記入した対応策が徹底されていなく、同じことが繰り返されている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・研修の情報提供だけでなく、個人の目標を立てる。時間外の内部研修については、継続して特養と連携し参加しやすいものにしていく。
- ・ヒヤリハットはその場限りにならないよう、ミーティングや職員会議で話し合い、再発防止に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年12月18日(18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 新村・笠井・西山・荒井・岡村・宮尾・海沼
山崎・清水・杉田・北澤・米山・廣川・宮下
中村・柳島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	3人	0人	14人

前回の改善計画

- ・プライバシーに関する事は必ず事務所の中で話すように徹底する。
- ・ミーティング中、個人情報などはなるべく小さい声で伝えるようにする。
- ・トイレの声掛けは個々に行い、トイレの戸を開ける時はノックをしてから開けるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・プライバシーに関することは、事務所以外の場所でも話している事があり徹底できていない。
- ・ミーティングは利用者と離れた場所で行うことができ、個人情報についても配慮できていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	13	1			14
② 虐待は行われていない	13	1			14
③ プライバシーが守られている	4	9	1		14
④ 必要な方に成年後見制度を活用している			2	7	9
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4	8			12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・入浴や排泄介助は個々に行い、本人の気持ちへの配慮ができている。
- ・ミーティング等で個人情報を話すときは、利用者から離れた場所や、事務所を利用しプライバシーの保護をしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・他利用者の見守りがあるため、プライバシーの保護は環境面で難しくできていないことがある。
- ・個人情報を事務所以外で話していることがあり、職員間の意識統一ができていない。
- ・トイレ誘導の声かけは人まかせになっていて、職員同士の連携ができていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・個人情報やプライバシーに関することは、なるべく事務所内で話しをする。事務所以外の場所では近くに利用者がいないか配慮する。
- ・定時のトイレ誘導の時間は作らないので、利用者に合わせ声をかけていく。人まかせにならないよう、職員同士でも声をかけるようにする。